

# どきどき通信 No.6



Kikugawa City

平成 29 年 12 月発行

ミネダちゃん

## 調査速報

### かしま うちあげ いせき はくつちよう さ 鹿島・打上遺跡の発掘調査

7月中旬から9月中旬にかけて、菊川市半済字打上にある鹿島・打上遺跡の発掘調査を行いました。

#### 数千年にわたる生活の跡

道路を広げるための調査のため、<sup>ほんい たてものあと</sup>せまい範囲でしたが、建物跡の柱を立てた穴などが見つかりました。平成 27 年度に南側を発掘調査したときには、<sup>ならじだい</sup>奈良時代以降の建物跡が発見されています（どきどき通信 No.2 で紹介）。今回の範囲にも、同様の遺跡が広がっていると考えられます。

また、<sup>じょうもんじだい</sup>縄文時代の 4～5 千年前の土器や石器、<sup>へいあんじだい</sup>奈良時代や平安時代の土器の破片が出土しました。

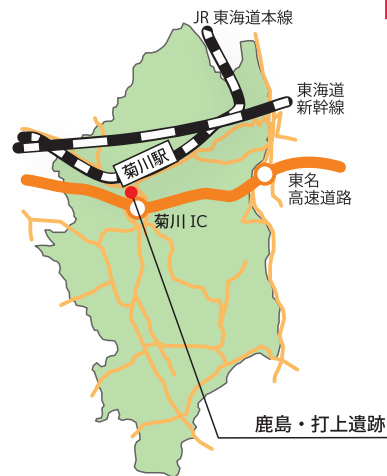
この台地上は、数千年にわたって人々の生活の場になっていたのです。



鹿島古墳の現状 草が茂る範囲が小高くなっている部分



発掘調査の様子 様々な穴が発見され、調べています



鹿島・打上遺跡



出土品の一部 縄文時代の土器の破片と石器



古墳の周溝の発見



鹿島古墳の埴輪 削平の時などに掘り出されたものと考えられ、古墳に立て置かれた下部が残っていたようです。左の写真は円筒埴輪、右の写真は動物形の埴輪の脚です。脚には蹄の表現の切り込みがあります。5本あるので2頭以上の馬か鹿などの埴輪があったことがわかります。



## 関連報告 鹿島古墳の試掘・確認調査

この台地上には鹿島古墳という古墳もあり、約 1,500 年前の埴輪が発見されています。埴輪のある鹿島古墳は有力者の墓であったと考えられますが、大部分が削平されてしまっています。

地下にある遺跡の状態を確認するために、部分的に発掘する試掘・確認調査を行うことがあります。平成 29 年 4 月、鹿島古墳の試掘・確認調査を実施しました。すると、古墳が部分的に残っていることが確認できました。

小高くなっている部分の下には、黄色土と黒色土を交互に積んだ盛土が確認されました。また、その西側では、古墳の周囲をめぐる溝（周溝）が発見され、溝にたまった土の中から埴輪の破片が出土しました。